

新世代トータルメディアゲートウェイ

ONDECAST

作品紹介

オンデキャスト【onDecast】

オンデマンド（onDemand）とブロードキャスト（Broadcast）を融合して作られた造語。

今回のプログラミングコンテスト出品作品の重要なキーワードである。

「オンデキャスト」とは？

新世代トータルメディア・ゲートウェイ「オンデキャスト」(以下：オンデキャスト)とは、今や一人一台があたりまえとなった「**パーソナル・コンピュータシステム(パソコン)**」と、ADSLに代表される「**常時接続ブロードバンドネットワーク**」、さらに現在最も普及している情報端末「**テレビ**」を「**オンデマンド**」と「**ブロードキャスト**」という一見相反する2つの思想をもとにして**融合**。

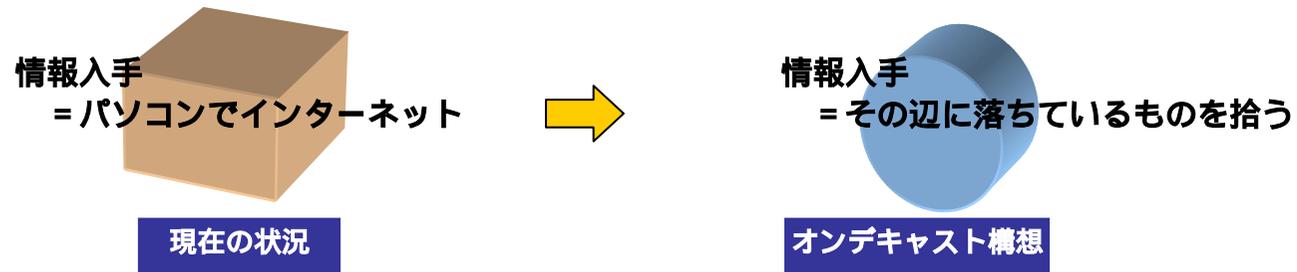
「パソコンを使って何ができるか？」ではなく、「**パソコンを使えば何が実現できるか**」という発想で実現させた、世界で初めての**トータルインフォメーション・アプリケーションシステム**です。



オンデキャストの目指すもの オンデキャスト構想

最近よく耳にするようになった「**オンデマンド**」という言葉、これはインターネットなどの双方向ネットワークを用いて「欲しい時」に「欲しい物(情報)」を得るという画期的な発想です。しかし、現在のパソコンユーザの大半を占める「**ビギナー層**」の人々にとって「**デマンド：要求**」することは「**難解**」とされ、パソコン活用への**大きな「壁」となっています**。「やり方が難しいから出来ない」という仮説をもとに、今まで分かり易く、使いやすい環境が数多く開発されてきましたが、未だ状況は**解決に向かっていません**。これらの事実をもとに私たちは「**ソフトの使い方だけが原因ではない**」と考えました。多くの人はTVニュースや新聞などの「**ブロードキャスト型媒体**」から自分に有益な情報を**簡単に選び出すことができます**。これは「**こんな感じ**」という「**おおまかな”めぼし”**」しなくても、それに少しでも関連するものがあれば**アナログ的に解釈して理解**することが出来るからです。自分の欲しい情報を**的確に把握**し、検索やカテゴリ選択を行って要求を出すオンデマンドは、実は初心者にとって**非常に難しいことなのです**。

そこでこれらを**組み合わせ**、ある程度大きな範囲で「**興味のある情報傾向**」を**自動で収集・蓄積**し、それをわかりやすく整理した後でTVニュースのように**配信**することが出来れば、自分の興味のある情報だけを**的確な要求を出すことなく手軽に得られるのではないか?**と考えました。



「特別な努力をしなくても、最初から身の回りに情報がころがっている状況の演出。」
これこそが私たちの実現するオンデキャストであり、同時に目指す「**オンデキャスト構想**」なのです。

オンデマンド【onDemand】

オンデマンドとは本来、「要求があり次第」という意味に他なりません。しかしここではそのオンデマンドの実質的活用事例として「インターネットによるオンデマンドサービス」を考え、オンデマンドの具体的な意味として使用しています。

独創的な部分

- 「**オンデキャスト構想**」、それは「**情報入手 = パソコンでカタカタ**」という**固定概念を打ち破る新発想**。
- 情報の三大活用「**取得・活用・発信**」がこれひとつで行える**トータルメディア・ゲートウェイ**
- パソコンではなく、**TVでの利用**を第一に考えた**総合設計思想**
- **1対n**を実現したオリジナルデバイス「**オンデキャストステーション**」による**パソコンとTVの無線連携**、それにより**世界初のメディアミックス・コラボレーション**を実現
- どの家庭にも普及した「**パソコン**」と「**テレビ**」を使用。「オンデキャストステーション」以外の設備や工事などは**一切必要ありません**
- 映像の送信には一般の**UHF波**を使用。どんなTVでも、**チャンネル設定だけで受像可能**
(パソコンとオンデキャストステーションをつなぐだけ。TV側に**特殊な周辺機器は必要ありません**。)
- 「**情報源**」として既存の**インターネット (Web他)**を使用。既存の**膨大な情報資源**をそのまま活用できる
- **特定の情報提供者**がみんなに情報を提供する**形態ではない**。既存のネット資源をオリジナルエンジン「**オンデキャストアナライザ**」により**自力で解析・取得・蓄積**するため、**半永久的にサービスを提供**することができる。
(2次配布による著作権侵害等の危険性もない。)
- 情報の配信だけでなく、DVD、デジカメ画像に代表される**各種マルチメディア**を扱える「**トータルメディアキャスター**」を搭載。オンデキャストステーションを用いることで**TVに表示して鑑賞**できる。だから場所を気にせず**多人数で楽しめる**。(台所・居間・応接間・寝室など「どこでも」「だれでも」「だれとでも」)
- 「**時間がない!**」そんなときにメールを使ってニュース内容を携帯に送信する「**オンキャストメール**」機能を搭載。**オンデキャストは忙しい現代人の見方**です
- 各家庭のオンデキャストをインターネットでつなぐ「**オンキャストネット21**」。多彩な形態での**相互意見交換**が可能です
- コンテスト出品だけが目的ではなく、そのまま製品としても耐えうる品質「**プロダクトクオリティ**」を念頭に開発された**本格派システム設計**

プロダクトクオリティ【Product Quality】

ただのアマチュア作品としてではなく、「製品としても通用する」作品品質を表す私たちの造語表現。

製品として発売されても恥ずかしくない「こだわり」を持って制作を行うという決意のあらわれでもある。

オンデキャストシステムの対象者

オンデキャストは以下のような「やりたいことはたくさんある！でもよくわからないなあ・・・」というファミリーの**パソコン初心者**の方を対象に開発しました。

- ・ パソコンが家にある。ネットも引いている。でもなんか**物足りない人**（活用できていないなあと感じる人）
- ・ インターネットをやっているが、欲しい情報になかなか**とり着けない人**
- ・ TVニュースじゃ物足りない。でも**ネットで調べるのも面倒だなあ**と感じている人
- ・ インターネットで情報を仕入れたい。でもパソコンが**苦手で方法がまったくわからない人**。
- ・ 朝の忙しい時間、グローバルなニュースもいいけど、やっぱり**自分好みの最新情報**をいち早く入手したい人。
- ・ パソコンでDVDが見れる！でも**一人で見ても楽しくないなあ・・・**という人。
- ・ 家事・炊事の合間や、食後に**ボーっとしていたい**。でもできれば時間を**有意義に使っている**いろいろな**情報を得たい人**。
- ・ 逆に家事・炊事の間、勉強中などにCDやMP3が聞きたい！でもパソコンは1台しかないし、ラジカセを**持ち歩くのも面倒**。そもそもデジタルオーディオ対応のラジカセなんて**持ってない！**という人。
- ・ デジカメで家族旅行の写真を撮影。**大画面で鑑賞したい！**でもいちいち**接続するのも面倒だし使い勝手**がわるい・・・という人。
- ・ **刻一刻と変わる時事**。これに対して**自分の意見をみんなに述べたい！**でも述べる人も場所も時間もない人。

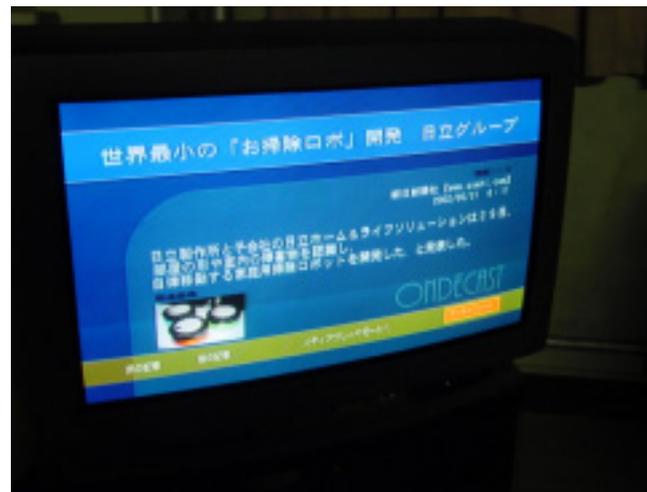
また、初心者だけでなく、以下のような**パワーユーザー**の熱い要望にも**確実に**お答えします。

- ・ 映像鑑賞は**インターレスのTV**じゃないと**画質に満足**のいかない人
- ・ 分野が絞れたらネットでバリバリ調べられる。でも**好きな分野以外はあんまり知らないなあ・・・**異分野の情報の**ネタ収集**をしたい！と思ってる人
- ・ キャプチャボードで動画を録画！でもパソコンで**一人で見ても仕方ないなあ・・・**という人

類似品との相違点

オンデキャスト最大の特徴、それは「類似品が存在しない」ことです。「発想の近い商品」としてカノープス社「HomeEdge」やSONYの「コクーン」などがありますが、どちらも情報（映像のみ）を「活用」する機能だけで、「取得」も「発信」もできません。また上記製品では、その本体以外に鑑賞するTV毎に専用の設備（PCや家庭内LAN環境など）が必要になり一般家庭では実現が難しい上、本体自体のコストも簡単に手の出るものではありません。（SONY「コクーン」など）

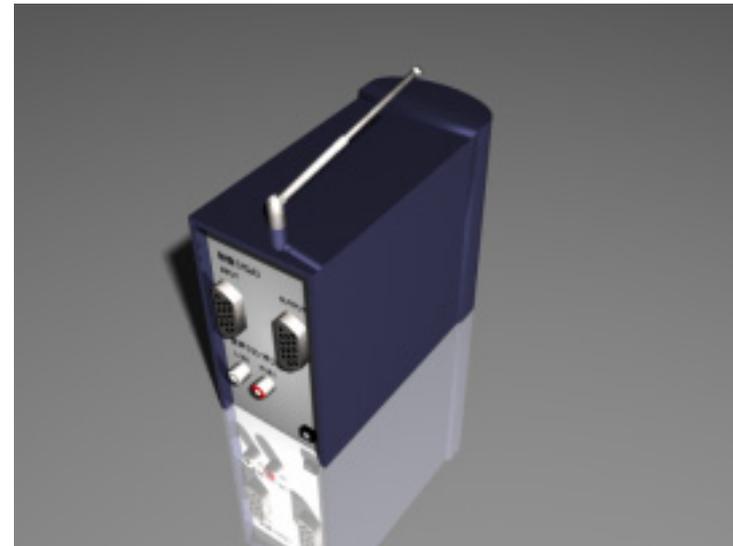
- ・ 製品をも凌駕する情報総合活用構想「オンデキャスト構想」
- ・ 「パソコン」と「テレビ」、この環境さえあればオンデキャストステーションをパソコンに取り付けるだけで実現するユースフルなシステム設計これがオンデキャスト最大の魅力です。



開発中のトータルメディアキャスターのTV受像画像（16：9ワイドモード）

オンデキャストシステムの構成

オンデキャストは各家庭1台があたりまえとなりつつある「パソコン」、どの家庭にも必ずある情報端末「テレビ」、そして私たちが開発したオリジナルデバイス「オンデキャストステーション」により構成されます。



オンデキャストステーションはモニタ画面のVGA信号をTV用信号に変換する**ダウンスキャンコンバータ**と、その映像をUHFで送信する**ビデオトランスミッター**、さらにパソコンのオンデキャストを操作するための**リモコンシステム**により構成されています。接続方法は簡単で、電源を繋ぎ、パソコンのサウンドとビデオをオンデキャストステーション経由で**接続するだけです**。

オンデキャストステーションの発信するUHF波の送信半径は約30m。家のアンテナで**簡単に受信**でき、家の中の**どのTVでも受像**することができます。

システムの利用方法 - 各機能の紹介・オンデキャストの実現するもの -



このカテゴリ分別を元に解析を行い

データベースを作成。

情報の取得

オンデキャストの利用はインターネットから情報を得ることから始まります。ユーザは欲しい**情報ソース**（情報元となるWebサイト）の**カテゴリ**テンプレートを選択します。有名ニュースサイトや新聞社、放送局などのカテゴリテンプレートは**最初から搭載**されているので、ユーザは用意されたものの中から選択するだけですぐに利用できます。テンプレートには「**サイトのどの辺に、どのようなものがある**」といった情報が入っており、このテンプレートに基づいて「**オンデキャストアナライザ**」が**解析**を行います。そのためサイトがリニューアルし、構成が変わったとしても**テンプレートを更新**するだけで**簡単に対応**させることができます。

テンプレートは「**オンキャストネット21**」を使ってダウンロードすることもできます。また専用ツール、「**オンプレート・クリエイター**」を使って**初心者**でも**簡単**に作成することができます。もちろん作成したテンプレートは「**オンキャストネット21**」を使って**世界に配信**することもできます。

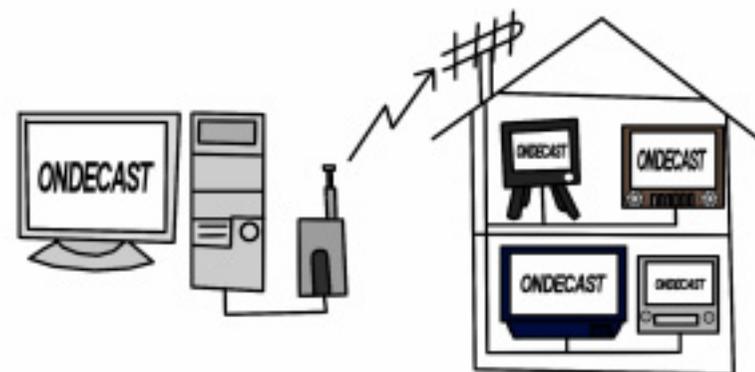
解析の対象は見出し、本文、画像、出典等で、リンクを辿っての**親子解析も可能**です。この解析結果はデータベースに蓄積され、「**トータルメディアキャスター**」に反映されます。

情報の活用

オンデキャストアナライザによって解析・蓄積されたデータは「**トータルメディアキャスター**」によって見やすく、わかり易いように**自動で編集**された後、パソコン画面に表示されます。その映像は「**オンデキャストステーション**」により電波で**家中のテレビへ送信**されます。利用者はテレビのチャンネルをオンデキャストステーションに合わせるだけで、**特別な操作や機器は必要なく**、トータルメディアキャスターにより映像化された情報を鑑賞することが出来ます。わざわざパソコンに向かわなくても気軽に情報を得ることが出来るオンデキャストは家事、炊事、食事、そして家族の団らんの“お供”として**効果を発揮**します。



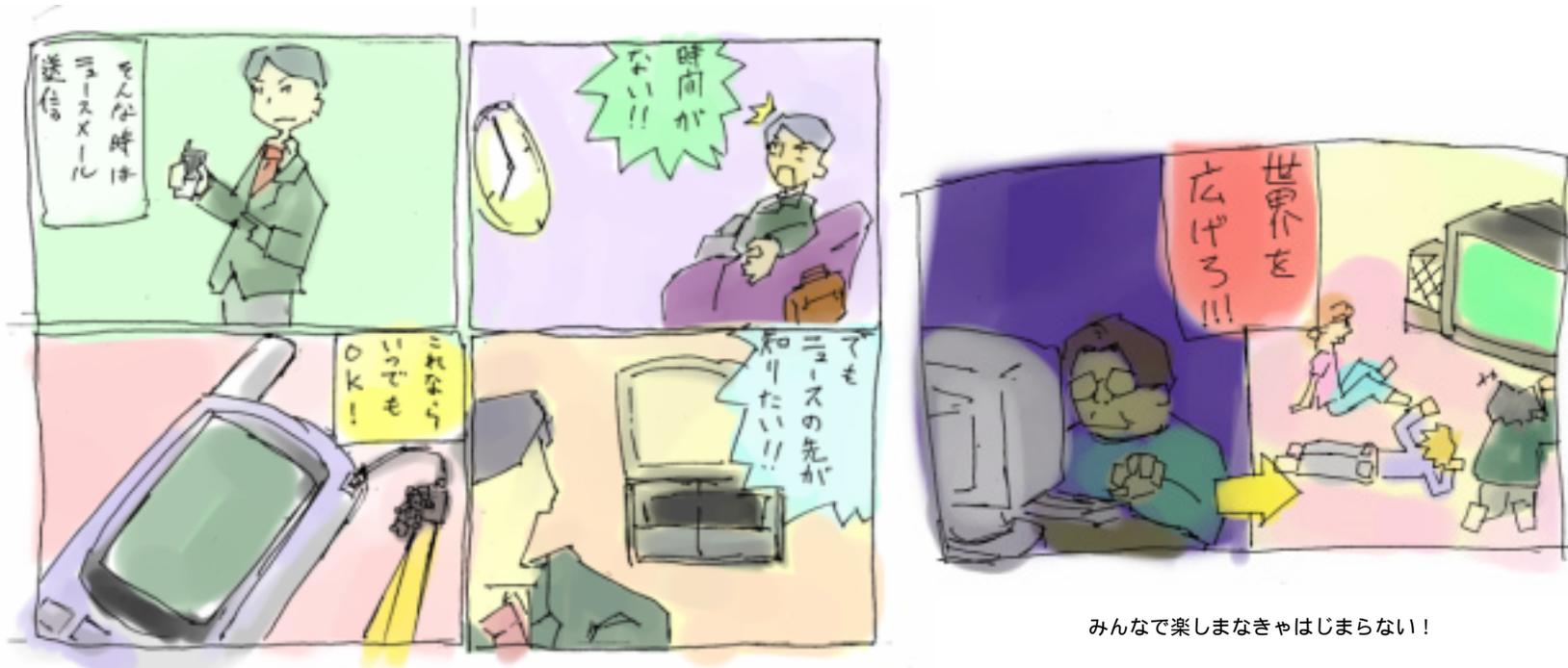
いつでも・どこでも・だれとでも



オンデキャストシステム概念図

朝の忙しい時、ニュースの先が知りたいけど詳しく見ている時間がない！そんな経験はありませんか？オンデキャストならトータルメディアキャストで配信中のニュースをメールで携帯電話に送信する機能「**オンキャストメール**」の機能があります。操作は「オンキャストメール」ボタンを押すだけ。通勤・通学中のヒマな時間にニュースの続きを**じっくり読む**ことができます。オンデキャストはユビキタスな情報活用を目指します。またトータルメディアキャストは、**DVDはモチロン**のこと、AVI、MPEG1/2/4、WMV等の**動画**、JPG等のデジカメ**静止画像**、MP3等の**音声**など、**各種マルチメディアを再生**することが可能です。もちろんこれらはTV画面を見ながらオンデキャストステーションの**リモコンで操作**することが出来ます。一人でしか**楽しめない**パソコンのマルチメディアと違い、**大画面を囲んで家族で楽しむマルチメディアは格別な楽しみ**があるのではないのでしょうか。

「パソコンによって個人個人に引き離されがちな『人とのつながり』をパソコンとオンデキャストで復興し、さらなる**良いもの**を目指す」これもオンデキャストのひとつの**使命**だと考えています。



みんなで楽しまなきゃはじまらない！

オンキャストメールは忙しい現代人の強い見方！

情報の発信

情報を入力、活用した後は「情報の発信」です。オンデキャストで手に入れたニュースに関して利用者は何かしらの「意見」や「感想」を持つことでしょう。しかし、現実の世界ではニュースについて話し合ったり、意見を交換したりという機会はあまりありません。あっても親しい友人や、家族とといったくらいです。そこで、各家庭に設置されたオンデキャストをインターネットでひとつに結び、意見交換やニュースソースのカテゴリテンプレートの公開、各種アミューズメントを行うための「オンキャストネット21」を開発しました。利用者は世界の同じ思いを持った人間と繋がった意見交換の場、「オンキャストネット21：ザナフォーラム」を利用して、各種意見交換・情報交換を行うことができます。このザナフォーラムはインターネットの掲示板をTVからも簡単に利用できるようにアレンジしたものに、オンデキャストアナライザとの連携機能を加えて設計された、Webベースではなく、クライアントソフトウェアベースの総合掲示板システムです。このザナフォーラムの内容もオンデキャストアナライザによる解析が可能となっており、ユーザ間の意見交換の結果や提供情報などもトータルメディアキャスターに反映させることができます。

「利用者がソースから得た情報（意見）が新たなソースとなり、新たな情報を生む。」この理想こそが私たちの願うあらたな情報化社会の形です。もちろんトータルメディアキャスターでは「情報の出典」というものを一番に尊重していますので、ネット上のソースならその配信元、ザナフォーラムがソースならその発言者の情報が同時に表示されます。そのためプロパガンダによるデマに惑わされる心配もありません。情報を判断するのはあなた自身の仕事です。

システムの実現に向けて

現在、システムの実現に向けて全力で開発を進めています。オンデキャストステーションは本格的な設計に入り、オンデキャストアナライザもモジュールの開発を開始しました。最初は夢物語な構想といわれたオンデキャストもプロジェクトメンバー各員の努力により、システムの実現は可能であると判断するに至りました。

これからも「プロダクトクオリティ」を目指し全力で開発を進めていく決意です。

動作環境

パソコン

OS	Microsoft Windows XP/2000/Me
メモリ	64MB 以上を推奨
HDD	30MB 以上を推奨
周辺機器	DVDドライブ推奨
その他	VGA出力端子 リモコン制御用 RS-232C端子

テレビ

サイズ	14インチ以上推奨
発色	カラー
受信周波数	UHF帯
形式	NTSC(国内専用)

オンデキャストステーション

上記推奨パソコンスペックにて作動。

開発環境

OS	Microsoft Windows2000 Professional
メモリ	256MB SD-RAMM
HDD	310GB
モニタ	SAMSUNG SyncMaster172B(TFT17")
開発言語	Microsoft Visual C++ 6.0 Microsoft Visual Basic 6.0
使用ユーティリティ	Microsoft Word 2000 Adobe Acrobat 5.0 IBM ウェブアートデザイナー 6.5